

以下、本文-----

CRISPR-Cas を用いた癌遺伝子変異検出法の確立

1. 研究の対象

2017 年 1 月 1 日以降に当院にて気管支鏡検査もしくは手術により肺癌と診断された患者さま。

本 HP 上でのオプアウトの対象は当院への通院を既に終わられている患者さまとします。

2. 研究目的・方法

本研究は、ゲノム編集技術である CRISPR-Cas システムを応用した変異遺伝子検出のあらたなシステム樹立を大阪大学基礎工学部物質創成専攻 機能物質化学領域 鈴木啓一郎研究室と共同で行うことを目標としています。本システムは PCR を用いない、高速変異遺伝子検出システムとなることが期待されており、本システムが確立されれば、既存の検出方法よりもはるかに短時間で遺伝子変異の検出が可能となることが期待されます。

以下の遺伝子変異を有する患者さんの過去の検体を用いて DNA を抽出します。

EGFR 遺伝子変異

BRAF V600E 遺伝子変異

ALK 融合遺伝子変異

ROS1 融合遺伝子変異

RET 融合遺伝子変異

これらの変異については遺伝性はないとされており、家族性腫瘍疾患との関与は現時点ではないとされています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

試料：血漿、過去の切除検体標本

4. 外部への試料・情報の提供

大阪大学基礎工学部 鈴木研究室に匿名化された DNA 検体を送付します。

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者（研究責任者）

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 主任部長 熊谷融

研究事務局

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 診療主任 國政啓

協同研究者

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 副部長 久原華子

呼吸器内科 医長 田宮基裕

呼吸器内科 医長 井上貴子

呼吸器内科 診療主任 木村円花

個人情報管理者

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 副部長 西野和美

【遺伝子解析実施機関】

大阪大学基礎工学研究科 物質創成専攻 機能物質化学領域 教授 鈴木啓一郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 主任部長・研究責任者
熊谷融

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究代表者：大阪国際がんセンター 呼吸器内科 主任部長 熊谷融

-----以上